

3月12日（木）歌う喜び

六年生がもうすぐ卒業^{そつぎょう}します。六年生は、入学式^{にゅうがくしき}ができませんでした。コロナ^{コロナ}感染^{かんせん}が広^{ひろ}まっていて、人^{ひと}が集^{あつ}まる行事^{ぎょうじ}はほとんど中^{ちゅうし}止^しになっていたのです。



この年^{とし}は、市内音楽会^{しないうたがくかい}もできませんでした。この年^{とし}の三月^{さんがつ}、入間ケーブルテレビ^{いるま}で、6年生^{ねんせい}の音楽交流会^{おんがくこうりゅうかい}の様子^{ようす}が放送^{ほうそう}されました。いくつかの学校^{じぶん}が、自分の学校^{がっこう}で歌^{うた}った合唱^{がっしょう}を、他の学校^たとビデオ^{がっこう}で見^みあ^あう活動^{かつどう}を行^{おこな}ったのです。

この時^{とき}は、全員^{ぜんいん}で合唱^{がっしょう}することができませんでした。それぞれの学校^{うた}は、パート^{さつえい}ごとに歌^{うた}を撮^{えいぞう}影^かして、その映像^{えいぞう}を重^{かさ}ねて一つの合唱^{がっしょう}に仕^し上^あげました。テレビ^{しゅざい}の取材^{しゅざい}に対して、当時の六年生^{しゅざい}が、こんなことを言^いっていました。

「パートごとに分^わかれることになったけど、みんなでがんばって歌^{うた}えてよかった。みんなで一緒^{いっしょ}に歌^{うた}いたかったけど、結果^{けっか}としては心^{こころ}が一^{ひと}つになった」

「歌^{うた}うことの楽^{たの}しさを、もう一^{いちどし}度^ど知^しることができた」

いま^{いま}は、集^{あつ}まって思^{おも}いっきり歌^{うた}えます。歌^{うた}いたくても歌^{うた}えない時^{とき}があったことを、知^しっておいてもらいたいです。

わたしもこの日のことは覚えています。職場で働いていた全員が、外に逃げました。逃げた場所でも大きな揺れを感じました。駐車場にとめてある車も揺れていました。仕事場に戻ると、ロッカーから物が落ちていました。揺れの大きさにこわくなったことを、忘れません。

テレビをつけると、津波の恐ろしさを知ることとなりました。信じられないことが、東北で起きていることに、驚くしかありませんでした。

8年前、被害のあった宮城県や福島県に行きましたが、完全な復興はまだまだだと感じました。地震の本当のこわさをまた知りました。

「いざ」というとき、落ち着いて行動できるかどうか。私たちはいつも考えていないといけないと思います。

村越 新